

アフリ新聞

VOL. 8

平成 23 年
9 月 16 日

医療法人社団裕人会
辰巳台クリニック ケアセンター
TEL : 0436(76)8802

第5回納涼祭開催しました

八月十日、十一日に第五回納涼祭が開催されました。一日目は「日和会」様（三味線、和太鼓）、二日目は「とんぼの会」様（オカリナ）に来て頂きました。暑い夏に涼やかな音色が響きました。そして、センターの隠し玉！トリオ「トン・チン・カン」彼女達？の熱い思い、皆さまに届きましたか？最後の「ソーラン節」は完璧！とまではいきませんでしたが、皆様の日々の頑張りに少しでも応えられたのなら、スタッフ一同嬉しく思います。



選択式リハビリ

当センターでは、七月より選択式リハビリ（機能訓練、アクティビティ・レクリエーションの自己選択が可能なプログラム）をスタートさせました。

筋力トレーニングの他に楽しみながら刺激のあるリハビリを提供していくため職員一同アイデアを出し合い準備しております。機能訓練の他にアクティビティを充実させました。風船バレーやペットボトルリレーでは、白熱したチーム対抗戦が繰り広げられました！

今後は、脳を活性化させるためのプログラムも予定しています。

震災から学んだこと

理学療法士 川畠郁恵

私の祖母は岩手県釜石市に在住しています。毎年お盆に家族で帰省するのが恒例です。今年は見慣れた景色が一変し、津波で被災した祖母宅も無残な姿でした。至る所に津波の痕跡が残っていました。

しかし、現地の人々の「頑張つべし釜石」、「必ず元の街を取り戻します」、「支援をありがとうございます」の言葉。前を向いて生きる強さ、感謝する心に感動しました。

少しづつ復興に向けて動いています。一人の力は小さいけれど、今出来ることを精一杯取り組んでいく事と感謝の大切さを再確認しました。また、東北の方々が一日も早く落ち着いた生活が送れるようにお祈りするとともに、小さな支援を続けていきたいです。

終わりに

先日、街を散策しているとちょっとした池に蓮の花が咲いているのを発見しました。

蓮の花を見ていると、蓮の花が人生の例えとして使われることを思い出しました。蓮の花は、泥水の中でしか育ちません。しかし、泥水に染まることなく、夏には美しい花を咲かせます。

私達人間は、辛いことから逃げ出さず、自らを律することが自分の人生に一つの美しい花を咲かせることではないかと感じさせられた瞬間でした。

また明日からコソコソと頑張つていこうと思います。何卒宜しくお願ひ致します。